

公益社団法人日本地震工学会 第80回理事会議事録

A.日時：2026年3月10日（火） 16時00分～19時30分

B.場所：建築会館305会議室とZoomのハイブリッド開催

C.出席者：（会長）山中浩明、（副会長）大堀道広（欠席）、高井伸雄、片岡正次郎

（担当理事）本多剛、引田智樹、渡邊和明、西田明美（欠席）、隈本邦彦（オンライン）、上田遼、
浅井竜也、石川敬祐（オンライン）、鋤田泰子（オンライン）、丸山喜久、上田恭平（オ
ンライン）、岩田直泰（オンライン）、王欣（オンライン）、吉見雅行、後藤浩之

（監事）小檜山雅之、古屋治（オンライン）

オブザーバ出席：竹元悦子事務局長

※片岡副会長の「片」の字は丁字と読み替えてください

※渡邊理事の「邊」の字は一点しんじょうと読み替えてください

D.議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|--|----------|
| 1) 第79回理事会議事録（案）の確認（引田理事） | 資料 80-01 |
| 2) 第29回正副会長会議報告（引田理事） | 資料 80-02 |
| 3) 会務報告（本多理事） | 資料 80-03 |
| 4) 会計報告（渡邊理事） | 資料 80-04 |
| 5) 広報部会からの報告（隈本理事） | 資料 80-05 |
| 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（上田遼理事） | 資料 80-06 |
| 7) 会誌編集委員会からの報告（浅井理事） | 資料 80-07 |
| 8) 国際委員会からの報告（石川理事） | 資料 80-08 |
| 9) 地震災害対応委員会からの報告（吉見理事） | 資料 80-09 |
| 10) 論文集編集委員会からの報告（鋤田理事） | 資料 80-10 |
| 11) 事業企画委員会（企画）からの報告（上田恭平理事） | 資料 80-11 |
| 12) 2025年度大会収支報告・2027年度大会準備に関する報告（丸山理事、岩田理事） | 資料 80-12 |
| 13) 17JEES運営委員会からの報告（後藤理事） | 資料 80-13 |
| 14) 将来構想委員会からの報告（大堀副会長） | 資料 80-14 |
| 15) メール審議の報告（1件：大会優秀発表賞）（引田理事） | 資料 80-15 |

議案

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| 第1号 入退会者・会費未納入者（引田理事） | 資料 80-16 |
| 第2号 共催・後援・協賛等（引田理事） | 資料 80-17 |
| 第3号 令和8年度事業計画（案）（引田理事） | 資料 80-18 |
| 第4号 令和7年度収支見込と令和8年度収支予算（案）（渡邊理事、西田理事） | 資料 80-19 |
| 第5号 今年度の表彰について | |
| (5-1) 現時点のまとめ（本多理事） | 資料 80-20 |
| (5-2) 功績賞（本多理事） | 資料 80-21 |
| (5-3) 功労賞（本多理事） | 資料 80-22 |
| (5-4) 名誉会員（2025年は選考年でないため、候補なし） | |
| (5-5) 論文賞（片岡副会長） | 資料 80-23 |
| (5-6) 論文奨励賞（鋤田理事） | 資料 80-24 |

(5-7) 大崎順彦賞 (本多理事)	資料 80-25
第 6 号 スペシャルアドバイザーの更新 (本多理事)	資料 80-26
第 7 号 新規研究委員会設置(DAS の地震工学への応用)吉見委員長 (片岡副会長)	資料 80-27
懇談事項	
1) 2026 年社員総会について (本多理事)	資料 80-28
2) 令和 7 年度事業報告 (案) について (本多理事)	資料 80-29
3) 新理事の候補者について (本多理事)	資料 80-30
4) 今後の予定について (本多理事)	資料 80-31
5) 感謝状 (涌井税理士) の贈呈について (本多理事)	資料 80-32
6) 清塚税理士との業務委託契約について (引田理事)	資料 80-33
7) 新たな英文誌の提案について (高井副会長)	資料 80-34

E.議事録：

報告事項

- 1) 第 79 回理事会議事録 (案) の確認 (引田理事)
 - ・引田理事より、資料 80-01 に基づいて、第 79 回理事会議事録 (案) が説明され、承認された。
- 2) 第 29 回正副会長会議報告 (引田理事)
 - ・引田理事より、資料 80-02 に基づいて、第 29 回正副会長会議の内容が報告された。
- 3) 会務報告 (本多理事)
 - ・本多理事より、資料 80-03 に基づいて、前回理事会以降の会務報告がなされた。
- 4) 会計報告 (渡邊理事)
 - ・渡邊理事より、資料 80-04 に基づいて、令和 7 年度の予算執行状況および収支見込みが報告された。2025 年度大会 (沖縄) の収益が大きかったこと、各委員会の旅費等削減の努力により今期の収支は大幅に改善され、約 151 万円の黒字となる予測が報告された。
 - ・片岡副会長より、公益法人と黒字になることの問題について質疑がなされ、渡邊理事より公益法人事業として黒字となった場合に、中期的収支均衡により 5 年以内に解消することの説明がなされ、竹元事務局長より大会事業の公益事業と法人事業の分配比率が 9:1 となっていることの補足説明がなされた。※会費収入は公益と法人の分配比率が 5:5 であるため、今年度の公益事業の収支は赤字となる (資料 80-19-03)。
- 5) 広報部会からの報告 (隈本理事)
 - ・隈本理事より、資料 80-05 に基づいて、広報部会の活動状況が報告された。日本地震工学会誌第 57 号の URL を記者クラブ加盟社宛にメール送信したことが説明された。
- 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告 (上田(遼)理事)
 - ・上田(遼)理事より、資料 80-06 に基づいて、情報コミュニケーション委員会の活動状況が報告された。
 - ・上田(遼)理事より、今後の震災対策技術展の運営方針案が提案された。情報コミュニケーション委員会 (IC 委員会)、事業企画委員会、研究委員会などが連携して、企業、市民など参加者に向けた研究アウトリーチを目的に加えた企画・運営を行い、事務局の負担も軽減する方針案が説明され、承認された。
 - ・片岡副会長より、震災対策技術展の企画・運営の体制と、広報部会との連携について質問がなされた。上田(遼)理事より、IC 委員会が企画・運営を担い、コンテンツは事業企画委員会、研究委員会に協力してもらおう計画であることが回答された。また、次期の広報部会担当理事とも相談をしており、広報部会とも協力して取り組む方針であることが回答された。

- 7) 会誌編集委員会からの報告（浅井理事）
- ・浅井理事より、資料 80-07 に基づいて、会誌編集委員会の活動状況が報告され、会誌 57 号の発刊、会誌 58 号と 59 号の特集案、NAS から Alrit への移行、2026 年度委員構成が説明された。
 - ・会誌 59 号特集「2016 年熊本地震から 10 年―復旧・復興の知見から考える地震レジリエンス―」について、片岡副会長より、「新阿蘇大橋の被害と復興」(案の No.1)の執筆依頼にあたっては、新阿蘇大橋に限定せず、対象は執筆者が書きやすいものにしてもらう方針で進めたいことと、「斜面崩壊と無人化施工」(No.2)については阿蘇の砂防事務所の所長に相談する方針であることが説明された。浅井理事より、「熊本城（上物&石垣）の被害と強化復旧」(No.4)と「熊本城（石垣）の被害と復興」(No.3)は、No.4 の執筆の内諾をもらっているので、No.3 の依頼は行わない方針が説明された。小檜山監事より、執筆者の所属の偏りに配慮するよう意見が述べられた。
 - ・浅井理事より、資料 80-07 に基づいて、17JEES の OS 企画、座談会企画のための費用として計 7 万円の支出計画が説明され、承認された。
- 8) 国際委員会からの報告（石川理事）
- ・石川理事より、資料 80-08 に基づいて、ニュースレター4月号の英文記事の予定が報告された。
- 9) 地震災害対応委員会からの報告（吉見理事）
- ・吉見理事より、地震災害対応委員会の活動状況が報告された。
- 10) 論文集編集委員会からの報告（鍬田理事）
- ・鍬田理事より、資料 80-10 に基づいて、論文集編集委員会の活動報告、論文集の編集状況と今後の予定、大崎順彦賞受賞者の寄稿について説明が行われた。
 - ・大崎順彦賞受賞者の寄稿について、鍬田理事より、現時点で受賞者からの投稿がないことが報告された。次年度の受賞者発表が近いため、5月号掲載のための締切期日を過ぎた場合は掲載を見送る方針が説明された。山中会長より、受賞者に寄稿のリマインドをするよう依頼がなされた。
- 11) 事業企画委員会（企画）からの報告（上田(恭)理事）
- ・上田(恭)理事より、資料 80-11 に基づいて、事業企画委員会からの報告が行われた。
 - ・上田(恭)理事より、Eーディフェンス見学会の参加申込が少なく、現状で収支がマイナスとなる見込であることが報告された。周囲に興味がある方がいたら宣伝するよう依頼がなされた。（申込締切は 3/11）
 - ・上田(恭)理事より、資料 80-11 に基づいて、DX 講習会 2026（AI 編）の計画と、参加費を正会員・法人会員 8,000 円、学生会員 4,000 円、後援学会会員 10,000 円、非会員 12,000 円、学生非会員 5,000 円とし、昨年度の DX 講習会 2025 の参加者は 1,000 円の割引を行う方針が説明され、承認された。山中会長より、昨年参加者の確認等で事務局に負担がかからない方法を IC 委員会と協力して検討して欲しいとの意見が述べられた。
 - ・上田(恭)理事より、DX 講習会 2026 の募集開始に併せて、DX 講習会 2025 の動画販売をアナウンスする予定であり、金額は DX 講習会 2025 参加費の半額とする案が説明され、承認された。
 - ・能登半島地震講演会の企画について、山中会長より多少の収益を出す方針が提案され、参加費を会員 1,000 円、非会員 2,000 円、学生会員は無料、学生非会員は 1,000 円とする方針となった。山中会長より、タイトルでは能登半島地震の名称を正確に表記するよう依頼がなされた。
- 12) 2025 年度大会収支報告・2027 年度大会準備に関する報告（丸山理事、岩田理事）
- ・丸山理事より、資料 80-12-1 に基づいて、大会 2025 の収支が約+314 万円となったことが報告された。
 - ・丸山理事より、大会実行委員会の担当理事は負担も大きく、現理事が後任候補を探すことが難しくなっており、理事会主導で候補を決めた方が良いとの意見が示された。後藤理事より、実行委員会の負担が少なくなるシステムを考えるべきであり、特定の会場を、何年かおきに繰り返し使

うことも手段の一つであるとの意見が述べられた。山中会長より、後任理事に申し送りして、方法を検討するよう依頼がなされた。

- ・岩田理事より、資料 80-12-2 に基づいて、大会 2027 の会場予約金の振込について報告がなされた。
- 13) 17JEES 運営委員会からの報告（後藤理事）
- ・後藤理事より、資料 79-13 に基づいて、17JEES の準備状況が報告された。
 - ・後藤理事より、資料 79-13 に基づいて、参加登録費を一般参加（早期割引）：18,000 円、一般参加（割引なし）：20,000 円、学生参加（早期割引）：6,000 円、学生参加（割引なし）：8,000 円とする案が説明され、承認された。
 - ・後藤理事より、資料 79-13 に基づいて、震災対策技術展大阪（7/2-3）において、JAEF 用にポスター 2 枚分を貼るスペースを確保してもらい、それを 17JEES の宣伝に使用することが提案され、承認された。
 - ・片岡副会長より、セコム科学技術振興財団の助成金の条件・義務の有無について質問がなされた。後藤理事より、申請書に記載した使途に使うことと、過去に行われた同じシンポジウムには助成されないため、今後は申請できない可能性があることが回答された。
- 14) 将来構想委員会からの報告（大堀副会長、本多理事代理報告）
- ・本多理事より、資料 80-14 に基づいて、シニア会員・終身会員制度等に関する検討について代理報告がなされた。
 - ・高井副会長より、今後の方針について質問がなされた。山中会長より、結論は出ていないため、後任の副会長を中心として引き続き検討を継続することが提案された。
 - ・本多理事より、会員区分を増やすとシステム改修に費用がかかるが、一括前納制度では会員区分の追加は不要なため、導入のハードルは低いとの意見が述べられた。吉見理事から、導入した制度を後で変えることは大変なので、慎重に検討すべきとの意見が述べられた。
 - ・山中会長より、一括前納制度は建築学会、土木学会でも導入されているので、それら他学会の先行事例を調べることを提案された。
- 15) メール審議の報告（1 件：大会優秀発表賞）（引田理事）
- ・引田理事より、資料 80-15 に基づいて、大会優秀発表賞に関するメール審議（2026/1/6 決議）の結果報告がなされた。

議案

第 1 号 入退会者・会費未納入者（引田理事）

- ・引田理事より、資料 80-16 に基づいて、入退会者の報告がなされ、承認された。
- ・引田理事より、資料 80-16 に基づいて、会費未納入者が報告され、未納者に知人がいる理事は納入をお願いすることの依頼がなされた。

第 2 号 共催・後援・協賛等（引田理事）

- ・引田理事より、資料 80-17 に示された共催 1 件、後援 2 件、協賛 1 件について説明がなされ、承認された。また、承認済の共催 1 件、後援 1 件、協賛 1 件について報告がなされた。

第 3 号 令和 8 年度事業計画（案）（引田理事）

- ・引田理事より、資料 80-18 に基づいて、令和 8 年度事業計画（案）が報告され、承認された。
- ・片岡副会長より、DAS に関する研究委員会の期間の誤記載が指摘された。（会議後、修正済）

第 4 号 令和 7 年度収支見込と令和 8 年度収支予算（案）（渡邊理事、西田理事）

- ・渡邊理事より、資料 80-19 に基づいて、令和 7 年度収支見込と令和 8 年度収支予算（案）が報告され、承認された。令和 8 年度収支予算については、全体収支は+1,571 円となり、ほぼ収入と支出が同額となることが報告された。内閣府報告のための正味財産増減計算書の令和 7 年度見込み、令和 8 年度予算案（資料 80-19-03、資料 80-19-04）は収支相償を満たすことが報告された。

第5号 今年度の表彰について

- ・本多理事より、資料 80-21 に基づいて、功績賞の受賞者と推薦書の内容について説明がなされ、承認された。
- ・本多理事より、資料 80-22 に基づいて、功労賞の受賞者と推薦書の内容について説明がなされ、承認された。
- ・片岡副会長より、資料 80-23 に基づいて、論文賞の受賞者と推薦書の内容について説明がなされ、承認された。
- ・鍛田理事より、資料 80-24 に基づいて、論文奨励賞の受賞者と推薦書の内容について説明がなされ、承認された。
- ・本多理事より、資料 80-25 に基づいて、大崎順彦賞の受賞者と推薦書の内容について説明がなされ、承認された。

第6号 スペシャルアドバイザーの更新（本多理事）

- ・本多理事より、資料 80-26 に基づいて、スペシャルアドバイザー5名の方の継続の承諾を得ていることの説明がなされ、任期更新が承認された。
- ・本多理事より、スペシャルアドバイザーの高齢化が進んでいるため、新しいスペシャルアドバイザーの依頼の検討をすることが今後の課題であることが説明された。

第7号 新規研究委員会設置(DASの地震工学への応用)吉見委員長（片岡副会長）

- ・片岡副会長より、資料 80-27 に基づいて、新規研究委員会「地震工学分野における光ファイバーセンシングの応用に関する研究委員会」（委員長：吉見雅行、設置期間：2026年4月1日から2029年3月31日）の設置について説明がなされ、承認された。
- ・山中会長より、建築分野からも委員に入ってもらいたいことを検討するよう依頼がなされた。

懇談事項

1) 2026年社員総会について（本多理事）

- ・本多理事より、資料 80-28 に基づいて、2026年5月21日に予定されている社員総会について説明がなされた。

2) 令和7年度事業報告（案）について（本多理事）

- ・本多理事より、資料 80-29 に基づいて、令和7年度事業報告（案）について説明がなされ、修正・変更がある場合は総務理事・事務局に連絡することの依頼がなされた。

3) 新理事の候補者について（本多理事）

- ・本多理事より、資料 80-30 に基づいて、次期役員候補の選出状況が報告された。事業（大会）の担当理事候補は吉見理事となったことが報告された。総務理事は、今後、山中会長が候補を検討することが確認された。

4) 今後の予定について（本多理事）

- ・本多理事より、資料 80-31 に基づいて、今後の予定が確認された。令和8年度事業計画および予算、第80回理事会議事録について修正、追記等があれば、3/23(月)までに総務理事、事務局に連絡することの依頼がなされた。

5) 感謝状（涌井税理士）の贈呈について（本多理事）

- ・本多理事より、資料 80-32 に基づいて、涌井税理士への感謝状贈呈の経緯と、感謝状文案について説明がなされ、承認された。

6) 清塚税理士との業務委託契約について（引田理事）

- ・引田理事より、資料 80-33 に基づいて、清塚税理士との業務委託契約と、契約の電子化のために株式会社インフォーマットの非営利団体向けのバックオフィス業務デジタル化の無償サービスの利用について説明がなされ、承認された。

7) 新たな英文誌の提案について（高井副会長）

- ・高井副会長より、資料 80-34 に基づいて、速報性の高い新たな英語論文誌「Earthquake Engineering Express Letter (3EL)」の創設に向けた検討状況が報告された。
- ・吉見理事より、しっかりした投稿システムを利用することが重要で、投稿料により費用を確保すれば対応できるだろうとのコメントが示された。山中会長より、具体的な検討を進めて欲しいとの要望が述べられた。

次回予定：（第 81 回理事会）：4 月 9 日（木）16～19 時 建築会館 304 会議室と Zoom のハイブリッド開催

（監事監査会 2026 年 4 月 8 日（水）11～13 時 *出席者：監事、大堀副会長、会計理事、総務理事）

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 山中 浩明

監事 小檜山 雅之

監事 古屋 治